

調査票

00

研究課題 総合的視覚リハビリテーションシステムプログラムの開発
(厚労省科学研究助成H22 - 感覚 - 一般 - 005)
研究期間 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
研究代表者 仲泊 聡 (国立障害者リハビリテーションセンター病院第二診療部)

調査年月日 年 月 日 午前・午後 時 分～ 時 分

対象者 氏名 記載不要
年齢 歳 男性・女性
郵便番号 -

どなたとっしょにお住まいですか

独居・同居人あり・入院・施設 (介護・自立・他)

同席者 なし ・ あり (関係:)

【フェルトニーズの把握】本人に直接聞きます

0. 「現在とくにできるようになればいいな」と思うことを3つお答え下さい

1)

2)

3)

以下の事柄ができるようになりたいと思うかどうかについてお答え下さい

A できないのでそう思うことがある

B できるけれどももっとよく思うことがある

C できているのでそうは思わない

D 必要がないのでそうは思わない

- | | | | | |
|--------------------|---|---|---|---|
| 1. バス・電車の利用 | A | B | C | D |
| 2. 階段の昇り降り | A | B | C | D |
| 3. 外出 | A | B | C | D |
| 4. すれ違う人の顔を見分けること | A | B | C | D |
| 5. テレビを見ること | A | B | C | D |
| 6. 新聞の本文を読むこと | A | B | C | D |
| 7. バスの行き先表示を見分けること | A | B | C | D |
| 8. 食事動作 | A | B | C | D |
| 9. お茶入れ動作 | A | B | C | D |
| 10. 整髪動作 | A | B | C | D |
| 11. 調理 | A | B | C | D |
| 12. 服選び | A | B | C | D |
| 13. 貨幣の弁別 | A | B | C | D |
| 14. 買い物 | A | B | C | D |
| 15. 固定電話 | A | B | C | D |
| 16. 携帯電話 | A | B | C | D |
| 17. パソコン | A | B | C | D |
| 18. ゴミ出し | A | B | C | D |
| 19. 自治会への参加 | A | B | C | D |
| 20. 投票 | A | B | C | D |

【ADLの評価と環境変化の影響】

評価項目に関する対象者の「している」動作について、本人または同席者から聞きとる。聞き取りの内容で調査者が評価する。ただし、一つの項目内で複数の評価が得られた場合は、得点の少ない方を選択する。
(説明)

以下の13項目の質問は、あなたが行っている基本的な、日常生活の動作についてお聞きします。各動作について、自宅や慣れた場所ではどのように行っているか、また、初めての場所ではどのように行っているかの二通りについて、お答えください。

A「自宅など慣れた場所では」

B「初めての場所では」

- 7 完全自立(介助、補助具、援助依頼など全く無しでしている)
- 6 修正自立(白杖などの補助具や盲導犬の利用で自力でしている)
- 5 見守りが必要(言葉による援助を受ける場合は4または5)
- 4 確認が必要(動作後の状態を見て、善し悪しを言語で評価してもらう場合)
- 3 言葉による説明が必要(動作前に状況説明を言葉で受ける場合)
- 2 一部介助(ガイドヘルプなどの部分的な介助が必要となる場合)
- 1 全介助(75%以上の介助、車いすを押してもらっての移動など)

セルフケア

A 食事(箸・スプーン)

質問:食事動作ではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

B 整容

質問:歯磨き、整髪(髪の毛をとかす)、手洗い、洗顔(顔を洗う)、化粧(または髭剃り)ではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

C 清拭

質問:入浴時に体を洗う、拭く動作ではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

D 更衣(上半身)

質問:上半身の衣類(シャツなど)をたんすなどから出し、着たり脱いだりする動作ではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

E 更衣(下半身)

質問:下半身の衣類(ズボンなど)をたんすなどから出し、はいたり脱いだりする動作ではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

F トイレ

質問：トイレ動作の中で、ズボンや下着を上げ下げすることや拭いたりする動作では
いかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

排泄

G 排尿コントロール

H 排便コントロール

質問：排尿・排便は失敗なくコントロールしていますか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

移乗

I ベッド、椅子

質問：ベッドから椅子（車椅子使用者は車椅子も含む）への乗り移りではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

J トイレ

質問：トイレ動作の中で便器への乗り移り（洋式の場合は座る、和式の場合はまたぐ）では
いかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

K 浴槽、シャワー

質問：入浴（お風呂）で浴槽に入ったり出たりするときや湯につかる動作ではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

移動

L 歩行、車椅子

質問：歩行ではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

M 階段

質問：階段の昇り降りではいかがですか

A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1
B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1

【簡易知能評価】ミニメンタルステート検査(本人に聞く) *は視覚利用困難な場合

1. 日時(5点)

今年は何年ですか。 いまの季節は何ですか。 今日は何曜日ですか。
今日は 何月 ・ 何日 ですか。

2. 現在地(5点)

ここは、何県ですか。 ここは何市ですか。 ここは何病院ですか。
ここは何階ですか。 ここは何地方ですか。

3. 記憶(3点)

物品名3個(桜、猫、電車)。1秒間に1個ずつ言う。
その後、被験者に繰り返させる。
正答1個につき1点を与える。3個全て言うまで繰り返す(6回まで)。

4. 7シリーズ(5点)

100から順に7を引いていく。5回できれば5点。間違えた時点で打ち切り。

5. 想起(3点)

3で示した物品名を再度復唱させる。

6. 呼称(2点)

時計と鉛筆を順に見せて(*触らせて)、名称を答えさせる。

7. 復唱(1点)

次の文章を繰り返す。「みんなで、力を合わせて綱を引きます」

8. 言語理解(3点)

次の3つの命令を口頭で伝え、すべて聞き終わってから実行する
「右手にこの紙を持ってください」(*紙を触らせる)
「それを半分に折りたたんでください」、「机の上に置いてください」

9. 文章理解(1点)

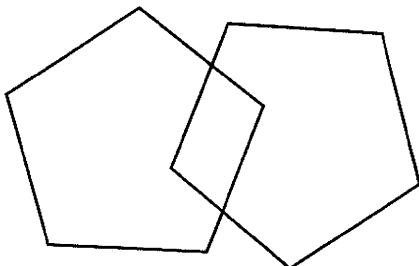
次の文章を読んで実行する。「眼を閉じなさい」(*調査者が読む)

10. 文章構成(1点)

何か文章を書いてください。(*文章を作成して言う)

11. 図形把握(1点)

次の図形を書き写してください。(*視覚補助具を使用してもよい)



【うつ傾向の評価】CES-D (本人に聞く)

専用の質問シートにて聴取を

得点 _____ 点

この一週間のうちで	ない	1-2日	3-4日	5日以上
1. 普段は何でもないことがわずらわしい。	A	B	C	D
2. 食べたくない。食欲が落ちた。	A	B	C	D
3. 家族や友達からはげましてもらっても、気分が晴れない。	A	B	C	D
4. 他の人と同じ程度には、能力があると思う。	A	B	C	D
5. 物事に集中できない。	A	B	C	D
6. ゆううつだ。	A	B	C	D
7. 何をするのも面倒だ。	A	B	C	D
8. これから先のことについて積極的に考えることができる。	A	B	C	D
9. 過去のことについてくよくよ考える。	A	B	C	D
10. 何か恐ろしい気持ちがある。	A	B	C	D
11. なかなか眠れない。	A	B	C	D
12. 生活について不満なく過ごせる。	A	B	C	D
13. ふだんより口数が少ない。口が重い。	A	B	C	D
14. 一人ぼっちでさびしい。	A	B	C	D
15. 皆がよそよそしいと思う。	A	B	C	D
16. 毎日が楽しい。	A	B	C	D
17. 急に泣きだすことがある。	A	B	C	D
18. 悲しいと感じる。	A	B	C	D
19. 皆が自分をきらっていると感じる。	A	B	C	D
20. 仕事が手につかない。	A	B	C	D

【視覚に関連した健康関連QOL評価】NEI VFQ-25 (本人に聞く)

専用の質問シートにて聴取を

総合得点 点

あなたは眼鏡かコンタクトをお使いですか？

- 1 使っている 2 時々使っている 3 使っていない

今お使いの眼鏡 (またはコンタクトレンズ) は、あなたの目にありますか？

- 1 あっている 2 あっていない

質問1. あなたの全身の健康状態はどうですか？

- 1 最高によい 2 とても良い 3 良い 4 あまり良くない 5 良くない

質問2. 現在、あなたの両眼での「ものの見えかた」は、どうですか？

- 1 最高によい 2 良い 3 あまり良くない 4 良くない 5 とても良くない
6 全く見えない

質問3. 自分の「ものの見えかた」について、不安を感じますか？

- 1 全く不安でない 2 たまに不安 3 ときどき不安 4 ほとんどいつも不安
5 いつも不安

質問4. 今まで、目や、目の周りに、痛みや不快感、例えば熱っぽさ、かゆみ、痛みなどは、どの程度ありましたか？

- 1 まったくない 2 かすかにある 3 中くらいにある 4 かなりある
5 ひじょうにある

質問5. あなたは、ふだん、新聞を読みますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいので読むのをやめた
6 別の理由で読むのをやめた、または、もともと読まない

質問6. あなたはふだん、たとえば、料理や裁縫をしたり、家の中で修理をしたり工具を使ったりというような、ものを近くで見る作業をしますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいのでするのをやめた
6 別の理由でするのをやめた、または、もともとしない

質問7. あなたは電話帳やくすりの説明書などの、細かい文字を読むことがありますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいので読むのをやめた
6 別の理由で読むのをやめた、または、もともと読まない

質問8. あなたはふだん、道路標識やお店の看板の文字を読むことがありますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいので読むのをやめた
6 別の理由で読むのをやめた、または、もともと読まない

質問9. あなたはふだん、夜や薄暗いところで、階段をおりたり、歩道の段差をおりたりすることがありますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいのでするのをやめた
6 別の理由でするのをやめた、または、もともとしない

質問10. あなたはふだん道を歩くとき、まわりのものに気がつかないことがありますか？

- 1 全くない 2 ほとんどない 3 ときどきある 4 よくある 5 いつもそうである
6 該当しない(別の理由で気がつかない、など)

質問11. あなたはふだん、あなたが何か言った時に相手はどう反応するかをみますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいのでするのをやめた
6 別の理由でするのでするのをやめた、または、もともとしない

質問12. あなたはふだん、その日に着る服を自分で選んだり、組み合わせたりしますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいのでするのをやめた
6 別の理由でするのでするのをやめた、または、もともとしない

質問13. あなたはふだん、誰かの家を訪ねたり、何かの集まりやレストランに行ったりしますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいのでするのをやめた
6 別の理由でするのでするのをやめた、または、もともとしない

質問14. あなたは、ふだん、テレビ番組を見て楽しむことがありますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいのでするのをやめた
6 別の理由でするのでするのをやめた、または、もともとしない

質問15. 車の運転について伺います。現在、あなたは車を運転することがありますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい
5 主にものが見えにくいのが原因で 6 他の原因で 7 その両方で

質問16. あなたは夜間、運転をしますか？

- 1 全く難しくない 2 あまり難しくない 3 難しい 4 とても難しい 5 見えにくいのでするのをやめた
6 別の理由でするのでするのをやめた、または、もともとしない

質問17. ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがありますか？

- 1 いつも 2 ほとんどいつも 3 ときどき 4 まれに 5 まったくない

質問18. ものが見えにくいために、仕事などのふだんの活動が長く続けられないことがありますか？

- 1 いつも 2 ほとんどいつも 3 ときどき 4 まれに 5 まったくない

質問19. 目や、目のまわりの、痛みや不快感が原因で、やりたいことができないことがありますか？

- 1 いつも 2 ほとんどいつも 3 ときどき 4 まれに 5 まったくない

質問20. ものが見えにくいために、家にいることが多い。

- 1 まったくそのとおり 2 ほぼあてはまる 3 何とも言えない
4 ほとんどあてはまらない 5 ぜんぜんあてはまらない

質問21. ものが見えにくいために、欲求不満を感じる。

- 1 まったくそのとおり 2 ほぼあてはまる 3 何とも言えない
4 ほとんどあてはまらない 5 ぜんぜんあてはまらない

質問22. ものが見えにくいために、したいことが思うようにできない。

- 1 まったくそのとおり 2 ほぼあてはまる 3 何とも言えない
4 ほとんどあてはまらない 5 ぜんぜんあてはまらない

質問23. ものが見えにくいために、他の人が話すことにたよらなければならない。

- 1 まったくそのとおり 2 ほぼあてはまる 3 何とも言えない
4 ほとんどあてはまらない 5 ぜんぜんあてはまらない

質問24. ものが見えにくいために、誰かの手助けを必要とすることが多い。

- 1 まったくそのとおり 2 ほぼあてはまる 3 何とも言えない
4 ほとんどあてはまらない 5 ぜんぜんあてはまらない

質問25. ものが見えにくいために、自分が気まずい思いをしたり、他の人を困らせたりするのではないかと心配である。

- 1 まったくそのとおり 2 ほぼあてはまる 3 何とも言えない
4 ほとんどあてはまらない 5 ぜんぜんあてはまらない

質問+1. 全体的にみて、あなたの健康度はどのくらいですか？

0を想像できる最も悪い状態、10を最高の状態として、10段階評価でお答えください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問+2. 現在のあなたのものの見え方は、どのくらいだと思いますか？

0を全く見えない状態、10を最高の見え方として、10段階評価でお答えください。眼鏡・コンタクトレンズを使っている方は矯正視力の場合でお答え下さい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

【追加質問】

見えにくい、または見えないことで、一番不自由に感じていることはどんなことですか？

(自由回答)

*** 休憩を入れてください ***

【視力に依存する日常生活作業 (DLTV) アンケート】 (できれば同席者に聞く)

以下の作業にどの程度困難がありますか

4 まったく困難なし 3 少し困難あり 2 かなり困難あり 1 できるだけ十分な視力なし

1. 部屋の向こう側にいる人の外観を見分ける	4	3	2	1
2. 左右どちらか横にある物に気づく	4	3	2	1
3. テレビ番組を見る	4	3	2	1
4. 階段をみて、それを使う	4	3	2	1
5. ドライブに出かけた時に景色を楽しむ	4	3	2	1
6. 道路標識を読む	4	3	2	1
7. 通りの向こう側にいる人の外観を見分ける	4	3	2	1
8. 庭の季節の変化がわかる	4	3	2	1
9. 腕を伸ばした距離で人の外観を見分ける	4	3	2	1
10. 自分のために飲み物を注ぐ	4	3	2	1
11. 箸を使って食べ物をつまむ	4	3	2	1
12. 自分の指の爪を切る	4	3	2	1
13. 家庭用電気製品を使う	4	3	2	1
14. 明るい場所から暗い場所に来たときに、暗さに目が慣れる	4	3	2	1
15. 暗い場所から明るい場所に来たときに、明るさに目が慣れる	4	3	2	1

以下の場所を歩き回る能力にどの程度自信があると感じますか。

4 かなり 3 ある程度 2 ほとんどなし 1 まったくなし

16. 自分の家のすぐ近所	4	3	2	1
17. 近所から少し離れた地域	4	3	2	1

老眼鏡メガネをかけているときに、以下の作業にどの程度困難がありますか。

(老眼鏡を使っていない人は裸眼での状況を聞く)

4 まったく困難なし 3 少し困難あり 2 かなり困難あり 1 できるだけ十分な視力なし

18. 新聞の普通の大きさの活字を読む	4	3	2	1
19. 新聞の見出しを読む	4	3	2	1
20. 通信文を読む - 例、請求書、手紙、葉書など	4	3	2	1
21. 書類に署名する (各種申請書)	4	3	2	1
22. ハンドバックや財布の中の紙幣や硬貨を区別する	4	3	2	1

【基本属性】

下線部分は可能なかぎりカルテから転記を

1) 視機能

(1) 瞭眼の矯正視力 右眼() 左眼() (カルテから ・ 本人の申告)

- a. 0, 光覚弁, 手動弁, 指数弁, 0.01
- b. 0.02, 0.03, 0.04
- c. 0.05, 0.06, 0.07, 0.08, 0.09, 0.1
- d. 0.15, 0.2
- e. 0.3, 0.4, 0.5, 0.6, 0.7
- f. 0.8, 0.9, 1.0, 1.2, 1.5, 2.0

(2) 視力低下の自覚 なし あるが生活に支障をきたさない範囲 支障をきたす

(3) 視力低下を自覚したのは何歳頃からですか ()歳頃

(4) 両眼の視野(左右眼の視野表を重ねて判定) (カルテから ・ 本人の申告)

判定は、Goldmann視野計(V/4視標)またはHumphrey視野計(40dB)
またはフェルステル視野計(白色1cm視標)により行う。

- a. 半径5度以下の求心性狭窄
- b. 半径10度以下の求心性狭窄
- c. 半径20度以下の求心性狭窄
- d. 半径40度以下の求心性狭窄
- e. 同名半盲(1/4盲を含む)
- f. その他の視野異常()
- g. 視野充分
- h. 不明
- i. 全盲

(5) 現在の視野狭窄の自覚

なし あるが生活に支障をきたさない範囲 支障をきたす

(全盲の場合でも、自覚的に判断してもらう※盲の自覚がない例もあるため)

(6) 視野狭窄を自覚したのは何歳頃からですか ()歳頃

(7) 視覚補助具

以下の道具を使用していますか。

遠用眼鏡 近用眼鏡(老眼鏡) 弱視眼鏡 遮光眼鏡(サングラス)
拡大鏡(ルーペ) 単眼鏡(望遠鏡) 拡大読書器
その他()

(8) 他の視機能障害

(羞明において視覚補助具を活用している場合は、それを使用した状態を聞く)

羞明(屋外)	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
羞明(屋内)	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
複視	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
動揺視	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
色覚異常	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
眼瞼けいれん	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす

(9) 身体障害者手帳(視覚障害)

a. あり () 級 b. なし

2) 重複障害

(1) 視覚障害以外の手帳の有無

a. あり (身体 ・ 精神 ・ 知的) b. なし

(2) 視覚障害以外の身体障害者手帳の内容

a. 聴覚障害 b. 肢体不自由 c. 内部障害 d. その他()

(3) 生活に支障をきたす他の異常

a. 肢体不自由	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
b. 聴覚異常	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
c. 嗅覚異常	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
d. 触覚異常	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
e. 全身疾患	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
f. 高次脳機能障害	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす
g. 発達障害	なし	あるが生活に支障をきたさない範囲	支障をきたす

3) 全身疾患の合併(複数回答可)

a. 糖尿病 b. 高血圧 c. 脳血管障害 d. 切断 e. 心疾患 f. 呼吸器疾患
g. その他()

4) 原因疾患名

(カルテから ・ 本人の申告)

a. 糖尿病網膜症 b. 緑内障 c. 加齢黄斑変性 d. 遺伝性網膜ジストロフィー※
e. 白内障 f. 変性近視 g. 未熟児網膜症 h. その他()

※ 網膜色素変性、錐体杆体ジストロフィーなどを含む

5) 背景因子

a. キーパーソン

あなたのことを一番よく理解してくれている人はどなたですか

親(義理含む) 兄弟姉妹(義理含む) 配偶者(内縁含む)
子供(養子含む) その他() なし

あなたが生活をする上で一番たよりにしている人はどなたですか

親(義理含む) 兄弟姉妹(義理含む) 配偶者(内縁含む)
子供(養子含む) その他() なし

緊急連絡先にあたる人はどなたですか

親(義理含む) 兄弟姉妹(義理含む) 配偶者(内縁含む)
子供(養子含む) その他() なし

- b. 学歴 中学校卒 高校卒 大学卒以上 その他()
- c. 主たる収入源 就労 年金 生活保護 その他()
- d. 総月収 9万円未満 9万円以上21万円未満 21万円以上
- e. 障害年金 なし あり
- f. 要介護認定 なし あり (要介護 要支援)

6) 基礎体力

- a. 運動やスポーツをしていますか はい いいえ
- b. 過去1ヶ月に転んだ回数 なし 1回 2~4回 5回以上

7) 余暇活動

- a. 何らかの余暇活動をしていますか はい いいえ
- b. はいの場合……それは何ですか ()
- c. いいえの場合……以前していたものは何ですか ()

【追加質問】

見えにくい、または見えないことで、今、一番支援してほしいことは何ですか？

(自由回答)

8) 視覚リハビリテーションの経験

ロービジョンケアまたは視覚リハビリテーションという言葉を知ったことがありますか

ある ない

ある場合 ……それをどこで知りましたか

これまでに見えにくさに対する何らかの相談や訓練などを受けたことがありますか

ある ない

ある場合 (1) ……それをどのような形で受けましたか (複数選択可)

泊まりがけで 通いで 来てもらって

ある場合 (2) ……それをどのような形で受けたかったですか (複数選択可)

泊まりがけで 通いで 来てもらって

ない場合 ……それをどのような形で受けたいですか (複数選択可)

泊まりがけで 通いで 来てもらって

先ほど**歳くらいで見えにくくなったとお答えになりましたが、見えにくさに対する

何らかの相談や訓練などは何歳ころに受けたかったですか (受けたい) ですか

_____ 歳

【もう一度フェルトニーズの把握】本人に聞く

0. もう一度伺います。「現在とくにごできるようになればいいな」と思うことを3つお答え下さい

1)

2)

3)

【追加質問】

最後の質問です。見えにくい、または見えないことで、今、一番ほしいサービスはどんなものですか？

(自由回答)

【メモ】

この調査対象者に伝えなかった情報、支援内容

そのために、さらに確認しなければならない質問項目

その他、本調査票に関する覚え書き

資料-3. 調査票項目とその説明

仲泊 聡

以下、本研究に用いた調査票の各項目において、はじめに例示し、次にそれを採用した (A) 理由または経緯を述べ、最後に調査後の検討結果による (B) 改良点や次年度調査への展望を述べる。

# 00	
研究課題	総合的視覚リハビリテーションシステムプログラムの開発 (厚労省科学研究助成H22 - 感覚 - 一般 - 005)
研究期間	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
研究代表者	仲泊 聡 (国立障害者リハビリテーションセンター病院第二診療部)
調査年月日	年 月 日 午前・午後 時 分 ~ 時 分
対象者 氏名	記載不要
年齢 歳	男性・女性
郵便番号	-

#0000 (番号付け) について

- A. 検討当初は、個人を特定する番号をつけるべきではないと考え、入れていなかった。しかし、紙ベースの調査票にも氏名は記載せず番号管理とした。氏名と番号との間は、連結可能とした方が、解析時のソース確認のために有利であると考え、通し番号を記載することにした。個人情報保護のため、対応表については研究代表者が鍵のかかる場所に保管し、必要時以外は利用しない方針とした。
- B. 将来的には、非連結データとしての解析を目指すため、番号付けも廃止する見込みである。

研究期間について

- A. 3年計画のうちの1年目であるが、3月中旬ま

- で調査を行い、少しでも多くのデータを収集した。
- B. 本報告書作成以降のデータをも合わせて行った解析結果については次年度の報告に改めて掲載する予定である。

調査年月日について

- A. 今回は、調査にかかる所要時間を知るために、年月日だけでなく調査時間についても記載することとした。
- B. 調査時間は、次年度は不要と思われた。次年度は、全国調査を予定し、病院以外の施設などでの聴取も含まれることが予定されているため、年月日だけでなくここに調査場所を記載する必要がある。

対象者について

A. 個人情報保護の観点より氏名は記載しなかった。年齢は、数字で記載した。性別は、男性と女性に二分した。性同一性障害については、調査時点での戸籍上の性別に準じるものとした。住所は、郵便番号のみとした。

B. 対象者の中には、郵便番号を聞いても答えられない者がいた。その場合は郵便番号が特定できる所まで住所を聞くようにした。施設に入所中であつても自宅または実家がある場合はそちらの郵便番号を記載するようにした。

どなたと一緒にお住まいですか
独居・同居人あり・入院・施設（介護・自立・他）
同席者 なし ・ あり（関係： ）

居住形態・同席者について

A. 居住形態は、独居、同居人あり、入院中、施設入所中を問うこととした。施設に関しては、介護施設、自立訓練施設、その他を記録した。同席者に関しては、事前の連絡は特に行わず、調査の際に同席希望の者がいる場合は対象者本人の承諾の上同席してもらい、対象者との関係を記載した。
B. 今後、支援プロトコルを提案する資料とするためには、入院・施設入所に関わらず、帰るべき家

に同居人がいるかどうか重要な要因となるため、「どこに住んでいるか」と「同居人の有無」を別項目として問う必要があると思われた。次年度の調査では、居住形態として自宅・病院・施設（ ）とし、これとは別に自宅に同居人があるかどうかを聞く。同席者については、今回ほとんど件数がなかったが、次回も記載する予定である。

【フェルトニーズの把握】本人に直接聞きます
0. 「現在とくにできるようになればいいな」と思うことを3つお答え下さい
1)
2)
3)

フェルトニーズの把握について (1)

A. 調査の初めに、「現在とくにできるようになればいいなと思うことを3つお答え下さい」と聞き、答えた通りの文言で記録した。「特にない」という

場合は、そのように記載した。この質問は、本人が感じているニーズ（フェルトニーズ）の内容と、今回の調査による影響でそれがどう変わるかについて

チェックする目的で、すべての質問に先んじて行い、また、すべての質問の最後に、同一の質問を行い、その変化について検討した。

B. 質問の表現が抽象的であるため、対象者によっては本調査の意図にそぐわないような答えをする者や、陳情的な内容になることもあった。しかし、これを聞くことで、純粋なフェルトニーズを聞き出すことができ、行うべき質問であると思われた。多数項目を述べる者もあったが、上限を3つとして

記録した。報告書の考察で述べたように8割の対象者においては、調査の前後で大きな差がなく、調査による影響はほとんどないものと考えられた。

【参考文献】

岡本秀明. 高齢者の社会活動とそれに対するフェルト・ニーズ (felt needs) : 実証的研究の提案. 生活科学研究誌 4; 2005, (1) - (15).

以下の事柄ができるようになりたいと思うかどうかについてお答え下さい

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| A できないのでそう思うことがある | B できるけれどもっとよくと思うことがある |
| C できているのでそうは思わない | D 必要がないのでそうは思わない |

- | | | | | |
|--------------------|---|---|---|---|
| 1. バス・電車の利用 | A | B | C | D |
| 2. 階段の昇り降り | A | B | C | D |
| 3. 外出 | A | B | C | D |
| 4. すれ違う人の顔を見分けること | A | B | C | D |
| 5. テレビを見ること | A | B | C | D |
| 6. 新聞の本文を読むこと | A | B | C | D |
| 7. バスの行き先表示を見分けること | A | B | C | D |
| 8. 食事動作 | A | B | C | D |
| 9. お茶入れ動作 | A | B | C | D |
| 10. 整髪動作 | A | B | C | D |
| 11. 調理 | A | B | C | D |
| 12. 服選び | A | B | C | D |
| 13. 貨幣の弁別 | A | B | C | D |
| 14. 買い物 | A | B | C | D |
| 15. 固定電話 | A | B | C | D |
| 16. 携帯電話 | A | B | C | D |
| 17. パソコン | A | B | C | D |
| 18. ゴミ出し | A | B | C | D |
| 19. 自治会への参加 | A | B | C | D |
| 20. 投票 | A | B | C | D |

フェルトニーズの把握について(2)

A. 1から15の質問は、杏林アイセンター式QOL評価表、東大式日常生活不自由度アンケート、視力に依存する日常生活作業(DLTV v4.0)アンケート、QOL評価票(視覚障害者用)第三機能回復訓練部1994.11.7、高次脳機能障害支援ニーズ判定票、NEI VFQ-25、川崎医療福祉大学式視覚障害者用視機能評価票(VFA)、メルボルンロービジョンADLインデックスの8種の質問票のうち過半数の質問票で対象としている事柄について、それができるようになりたいと思うかどうかについて聞いた。15番目の電話については、現在、固定電話と携帯電話では使い勝手が異なるため、別々に聴取することにし、また、最近ニーズが高まってきていると考えられるパソコンについては、17番目の質問として加えて聴取することにした。各項目の文言は、オリジナルのものとは必ずしも一致しておらず、多義的にならないように調査者間で聞き方を統一した。18から20番目に関しては、ICF(国際生活機能分類:International Classification of Functioning, Disability and Health)で重要視されている社会参加に関する問いとして加えた。8から10番目の何々動作という表現については、わかりにくいとの意見もあったが、これで採用した。回答の仕方は、当初、「思う」と「思わない」の2AFC(2-alternative forced choice:強制二者択一)で行おうとしたが、「思わない」を選択した場合、その理由として「できている」ため思わない場合と「必要がない」ため思わない場合のどちらであるかをさらに聴取する必要があったため、回答選択肢を「できないのでそう思うことがある」、「できるけれどもっと思うことがある」、「できているのでそうは思わ

ない」、「必要がないのでそうは思わない」の四者択一とした。全体を通して繰り返される設問が多いため、これらのフェルトニーズについては、他の質問票で同様の内容の質問に合わせてその都度確認した方が負担にならないのではないかとこの意見があったが、各質問票はそれぞれで閉じたシステムであるため、フェルトニーズとして独立して聞くべきであると考えられた。ただし、以上を考慮すると、これらについては調査の最初ではなく最後に問うべきかもしれない。最初に聞けば、より現状に近い状態の調査が可能となるが、最後に聞けば、ある程度の介入後に得られる状態を知ることになる。今回は、現状把握を優先し、最初の部分で聴取することにした。

B. 各項目について、調査員が実施した印象として、「10. 整髪動作」は、「整容(身だしなみ)」の方がいいという意見があった。また、「19. 自治会への参加」は、「集会(寄り合い)への参加」とした方がいいという意見があった。さらに、回答選択肢に関しては、この答え方であると順序尺度としての解析ができないという問題があった。さらに、「必要がないのでそうは思わない」と答えた中には、「見えないのでどうせできない」と諦めている者でも同様に答える場合があったと指摘された。また、特に4から7番目は、見えなければできないことは自明のことであり、全盲やそれに近い状態にある対象者に問うには、辛い内容であった。そのため、これらの項目については、「ニーズを聴く」と同時に「できるかどうかを問う」形態にすべきではないかと考え、次年度においては、以下のような回答の構造にすることが提案された。